

邦楽を楽しもう

<http://www.ab.auone-net.jp/~washi8>

鷺山昭男

私が「新内」が趣味だと云いますと、大方の皆さんは首を傾けます。少しでも御理解して頂こうと思ひ昨年十一月の三越劇場新内の会にOPCの一部会員の皆様を御案内申し上げました。

この機会に 御説明の意味で三味線音楽について簡単に解説しておきたいと思ひます。

三味線音楽は 「語り物」(浄瑠璃)と「唄物」にわけられます。「語り物」には義太夫節、豊後節、常磐津、清元、富本、新内。「唄物」には長唄、端唄、小唄、とあります。

吉原を中心に街頭を二人で流す新内節は、その情緒めんめんたる語り口、遊女の心情をきめこまかに描いた曲の内容から 江戸情緒を代表する庶民的な音楽として知られるところです。 曲目で特に有名なのは「蘭蝶」や「明烏夢泡雪」。タイトルの「邦楽をたのしもう」または上記のURLを検索してみてください。音入りです。まず「新内流し」を聴いてみてください。

端唄はばちを使うのにたいして 小唄は爪弾きで演奏します。端唄は平坦に唄

うのに対し、小唄は技巧的にうたいます。小唄の駒は端唄より大きな木製の木駒をもちます。端唄小唄とも演奏時間はおよそ 一分半から三分ていど。

端唄は鳴り物がはいるが、小唄は三味線のみで演唱。



私は後期高齢者であります。気力体力はどんどん落ちてきますが三味線の稽古とパソコンの学習は、僧侶の御勤めのように私の日課としてゆきたいと考えております。

平成25年9月23日(敬老の日)

完

☆☆☆☆

